

## 文化芸術振興の担い手と役割・モニタリング

文化芸術振興の担い手と役割

モニタリング（計画の進行管理）

## 1 文化芸術振興の担い手と役割

「条例」では、市民と市が果たす役割をそれぞれ定めています。文化芸術振興の総合的な推進を図るため、市や事業者等の役割を明らかにするとともに、市民、文化芸術団体等に次のような役割を期待します。

施策目標		重点方策および方策	
施策目標 1	市民の暮らしと文化芸術とのつながりを深める	<u>方策 1-1</u>	<b>誰もが文化芸術に日常的に親しめる環境の整備</b>
		方策 1-2	市民の自発的かつ主体的な文化芸術活動への支援
		方策 1-3	芸術性の高い文化芸術を鑑賞する機会の充実
		方策 1-4	文化芸術の力を社会へ生かす取り組みの推進
施策目標 2	地域の文化を大切に守り、次代につなぐ	<u>方策 2-1</u>	<b>歴史的資源の保存、継承、活用の推進</b>
		方策 2-2	地域の歴史・文化を知り、学ぶ機会の充実
		方策 2-3	大和らしい歴史的・文化的景観の発掘、発信
施策目標 3	すべての子どもが文化芸術に親しめる環境をつくる	<u>方策 3-1</u>	<b>文化芸術の本物の輝きに触れる機会の充実</b>
		方策 3-2	子どもの文化芸術活動をサポートする体制の整備
		方策 3-3	創造活動の成果を発表する機会の充実
施策目標 4	文化芸術の振興を牽引する担い手を育てる	<u>方策 4-1</u>	<b>文化芸術活動を支える仕組みの整備</b>
		方策 4-2	若者の創造活動への支援
		方策 4-3	伝統文化継承者の育成
施策目標 5	大和の文化芸術の魅力を内外にアピールする	<u>方策 5-1</u>	<b>文化芸術に関する情報発信力の強化</b>
		方策 5-2	多くの人を惹きつける文化芸術イベントの開催
		方策 5-3	文化芸術の振興に寄与した人の顕彰
		方策 5-4	文化創造拠点と地域をつなぐ取り組みの推進
施策目標 6	多文化共生社会の実現を目指し、様々な文化に親しめる環境をつくる	<u>方策 6-1</u>	<b>文化芸術を通じた多文化交流の機会の充実</b>
		方策 6-2	海外都市との文化芸術交流の推進
		方策 6-3	世界の文化芸術に触れる機会の創出

文化芸術振興の担い手と役割・モニタリング

◎ 主導して取り組みに関わる担い手

○ 行われる取り組みに参加、支援する主な担い手

		市民等		事業者等			市	
		市民	文化芸術団体/ 芸術家	やまと芸術文化 ホール運営者	公益財団法人/ イベント観光協会	民間事業者/ 民間文化施設	市	教育委員会/ 学校
施策目標 1	方策 1-1	○	◎	◎	○	○	◎	○
	方策 1-2	○	◎	○		○	◎	
	方策 1-3	○	○	◎	◎	○	○	
	方策 1-4	○	◎	○	○	○	◎	○
施策目標 2	方策 2-1	○	○		◎	○	◎	
	方策 2-2	○			○		◎	◎
	方策 2-3				◎	○	◎	
施策目標 3	方策 3-1		◎	◎	○	○	○	◎
	方策 3-2	○	◎	○		○	◎	○
	方策 3-3		○	◎	○	○	○	◎
施策目標 4	方策 4-1	◎	○	○		◎	◎	
	方策 4-2		○	◎	○	○	◎	○
	方策 4-3	○	◎		◎		○	○
施策目標 5	方策 5-1	○	○	◎	○	○	◎	○
	方策 5-2	○	○	◎	◎	○	○	
	方策 5-3		○			○	◎	
	方策 5-4		○	◎	○	○	◎	○
施策目標 6	方策 6-1	○	○		◎	○	◎	
	方策 6-2	○	○	○	◎		◎	○
	方策 6-3	○	◎		◎	○	○	○

## 2 モニタリング (計画の進行管理)

定量的な項目のほか、事業の公平性や社会的な価値などの定性的な内容を踏まえてモニタリング項目を設定します。これらの項目は定期的な調査を行い、計画の進行管理に使用します。

モニタリング項目以外の成果についても、本市の文化芸術振興の総合的な推進を図るため、有識者と市民で構成する文化芸術振興審議会による点検と進捗状況を踏まえ、必要に応じて計画の内容や事業の見直しを行います。

施策目標	項目	第2期計画 目標	現状	本計画目標
施策目標1 市民の暮らしと文化芸術とのつながりを深める	過去1年間において1回以上文化芸術の鑑賞を行った市民の割合	80.0% (2018)	65.9% (2018)	80.0% (2023)
	自ら文化芸術活動を行っている市民の割合	40.0% (2018)	30.5% (2018)	40.0% (2023)
	文化や芸術活動が盛んに行われていると思う市民の割合	56.4% (2018)	45.7% (2016)	59.5% (2023)
施策目標2 地域の文化を大切に守り、次代につなぐ	大和市の歴史や文化は、しっかりと継承されていると思う市民の割合	41.5% (2018)	38.3% (2016)	45.5% (2023)
	歴史文化施設の利用者数	51,300人 (2018)	54,443人 (2017)	61,200人 (2023)
	つる舞の里歴史資料館企画展の認知状況	—	13.8% (2018)	20.0% (2023)
施策目標3 すべての子どもが文化芸術に親しめる環境をつくる	市立小・中学校それぞれの文化芸術鑑賞・体験1校あたりの実施回数の合計	3.9回 2.7回+1.2回 (2018)	4.7回 3.4回+1.3回 (2018)	5.0回 3.6回+1.4回 (2023)
	対話による美術鑑賞を実施するガイドスタッフ1人当たりの児童数	—	5.9人 (2017)	5.0人 (2023)
	美術館等で対話による美術鑑賞を行った児童が美術作品に興味を持った割合	—	80.6% (2018)	85.5% (2023)

施策目標	項目	第2期計画目標	現状	本計画目標
施策目標4 文化芸術の振興を 牽引する担い手を 育てる	仮称:やまと文化芸術サポーター制度の設 立に向けた調査研究及び人材育成	—	—	制度設立 (2023)
	イラストレーションデザインコンペの年間 応募者数	600人 (2018)	343人 (2018)	470人 (2023)
	イラストレーションデザインコンペ入賞者 への年間制作依頼件数	30件 (2018)	22件 (2017)	40件 (2023)
	やまと子ども伝統文化塾の受講者数	1,000人 (2018)	1,356人 (2018)	2,200人 (2023)
施策目標5 大和の文化芸術の 魅力を内外にアピ ールする	文化芸術イベント全体の認知状況	—	62.9% (2018)	75.0% (2023)
	やまと芸術文化ホール年間利用者数	230,000人 (2018)	306,018人 (2017)	324,000人 (2023)
	やまと芸術文化ホールホームページ年間ア クセス件数	230,000件 (2018)	594,284件 (2017)	598,000件 (2023)
	YAMATO ART100として採用し た文化芸術イベント数	—	102件 (2018)	100件以上 (2023)
施策目標6 多文化共生社会の 実現を目指し、 様々な文化に親し める環境をつくる	多文化共生・国際交流が行われていると思 う市民の割合	30.0% (2018)	22.3% (2016)	29.5% (2023)
	文化芸術に期待する役割に「多文化共生」 を挙げる市民の割合	—	13.7% (2018)	20.0% (2023)
	やまと世界料理の屋台村の認知状況	40.0% (2018)	16.3% (2018)	35.0% (2023)

